

## 地域のみなさまへ

### \* 地域交流スペース \*

地域の方々の自治活動や、ボランティア団体、福祉団体の活動などにご利用いただけるスペースです。ご利用にはご予約が必要です。利用規定や注意事項があり、事前に電話でご相談ください。

\* 連絡先：044-855-2591（川崎愛児園）\*



### \* 子育て相談 \*

## まぎぬ児童家庭支援センター

社会福祉士・臨床心理士・保育士などの専門スタッフが、子どもや家庭の悩み・困り事を一緒に考え、問題解決に向けてお手伝いをします。主に、お話をしながら一緒に問題の解決をお手伝いする「相談事業」や、様々な事情でご家庭での子育てが難しい場合に一時的にお子様をお預かりする「子育て短期利用事業」、「里親・ファミリーホーム支援」を行っています。



### 利用 方法

まずはお気軽にお電話ください。

電話 044-863-7855

(受付時間：月～金 9:00～17:00) \* 祝日・年末年始を除く

\* 相談は無料です。 \* 来所相談をご希望の場合、事前のご予約をお願いします。

\* プライバシーには十分配慮いたします。

## 児童福祉施設 川崎愛児園

### 児童養護施設 川崎愛児園

\* 住所 〒216-0035 川崎市宮前区馬絹1-24-5

\* 電話 044-855-2591

\* FAX 044-865-4445

### まぎぬ児童家庭支援センター

\* 住所 〒216-0035 川崎市宮前区馬絹1-24-5

\* 電話 044-863-7855

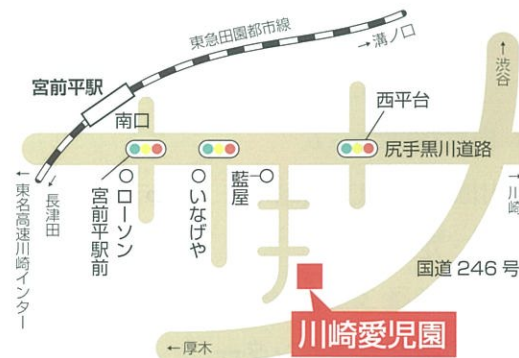
\* FAX 044-865-4445

\* 地域小規模児童養護施設 野川つくしホーム

\* 地域小規模児童養護施設 野川すみれホーム

\* 地域小規模児童養護施設 生田あやめホーム

\* 児童自立援助ホーム 大志



\* 最寄駅：東急田園都市線  
宮前平駅（南口）から徒歩7分



## 児童養護施設

# 川崎愛児園



社会福祉法人 川崎愛児園

## 法人の基本理念

当法人は命の尊さを大切に、愛情をもって社会福祉事業を効果的かつ適正に行い、地域社会への貢献に努めます。また、地域社会の中で「将来を担うこどもたち」への質の高い養育及び子育て支援を目指します。さらに、事業経営の透明性と健全な経営を目指します。

- 「命を大切に作る心」
- 「地域の中での養育と子育て支援」
- 「健全な経営」

## 施設の基本方針

児童一人ひとりが命を大切に作る心を持ち、心身ともに健康で調和のとれた人間として成長し、健全な社会人として自立した社会生活が営めるよう支援します。また、施設機能の専門性を活かし地域社会に協力します。

1. 一人ひとりの心身の成長に努めます
2. 一人ひとりの尊厳を維持し人権を擁護します
3. 一人ひとりの幸福のために支援します
4. 自立した社会生活が営めるように支援します
5. 施設の専門的役割を果たします

## 養護目標

社会的養護を必要とする入所児童に対しての基本目標は次の通りです。

1. あいさつの正しくできる人に
2. 健康な体と心をもてる人に
3. 人に好かれ社会に役立つ人に
4. 感謝の気持ちをもてる人に
5. 人との調和がとれる人に
6. 思いやりのある人に
7. 基本的な生活や自立した生活ができる人に

## 沿革

昭和28年 6月	創設者 宮崎勢喜が個人で幼児主体の「養護施設」を開設する
昭和50年 9月	旧川崎愛児園建設のため、個人経営主体を改組し法人格の社会福祉法人設立を図る
昭和51年 2月	社会福祉法人中原愛児園の認可を得る
昭和51年12月	仮園舎に移転、新園舎建築工事開始
昭和52年 8月	新園舎が現在の場所に完成（宮前区馬絹 1899）
昭和53年12月	社会福祉法人川崎愛児園へ名称変更
昭和60年12月	園舎増築
平成10年 4月	児童福祉法改正により「児童養護施設」となる
平成20年 4月	宮前区に地域小規模児童養護施設「野川つくしホーム」を開設
平成21年 4月	高津区に地域小規模児童養護施設「野川すみれホーム」を開設
平成21年 7月	川崎区に川崎児童自立援助ホーム「大志」を開設
平成22年 6月	多摩区に地域小規模児童養護施設「生田あやめホーム」を開設
平成26年 4月	麻生区に児童福祉施設白山愛児園（児童養護施設白山愛児園、はくさん児童家庭支援センター）を開設
平成26年12月	児童養護施設川崎愛児園の建替工事を開始
平成28年 4月	児童養護施設川崎愛児園の新園舎が完成。
平成28年 5月	児童養護施設川崎愛児園にまぎぬ児童家庭支援センターを付設し運営を開始

## 社会福祉事業の概要

1. 名称 児童養護施設 川崎愛児園
2. 設置主体 社会福祉法人 川崎愛児園（昭和51年2月24日認可）
3. 設置根拠 児童福祉法第41条
4. 運営施設

### (1) 児童養護施設

児童養護施設 川崎愛児園

- ・入所定員 42名
- ・一時預かり事業利用定員 ショートステイ 3名 デイステイ 12名
- ・職員 33名（施設長、保育士、児童指導員、個別対応職員、心理職員、家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、学習支援員、地域コーディネーター、栄養士、調理員等、事務職員）

### (2) 地域小規模児童養護施設

#### ① 野川つくしホーム

- ・定員 6名
- ・職員 3.5名（児童指導員、保育士）

#### ② 野川すみれホーム

- ・定員 6名
- ・職員 3.5名（児童指導員、保育士）

#### ③ 生田あやめホーム 定員 6名

- ・定員 6名
- ・職員 3.5名（児童指導員、保育士）

### (3) 自立援助ホーム

川崎児童自立援助ホーム 大志 定員 6名

- ・定員 6名
- ・職員 3.5名（児童指導員）

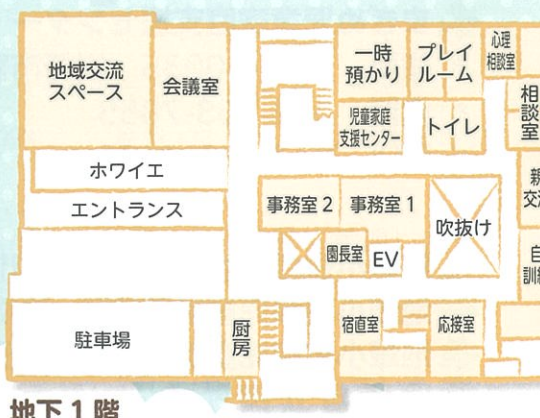
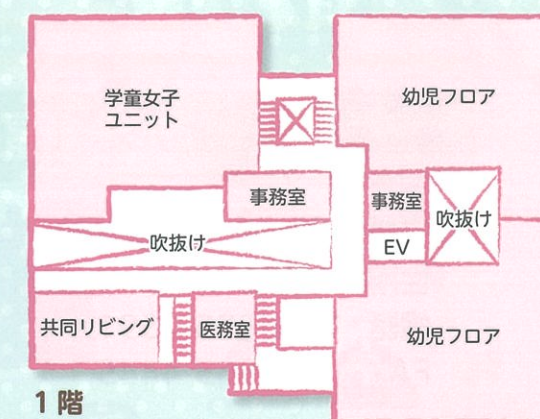
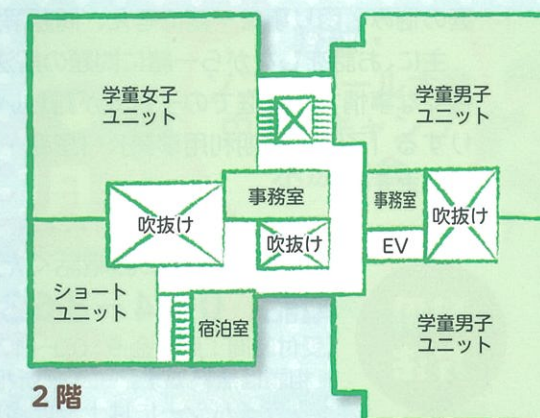
### (4) 児童家庭支援センター

まぎぬ児童家庭支援センター

- ・職員 4名（センター長、相談員、心理担当職員）

### (5) 地域交流スペース

『地域貢献事業』地域の自治活動や福祉団体の活動に地域交流スペースをご利用いただけます。



地下1階

# 1日の流れ

平日の子どもたちの一日



平成28年5月に、子どもたちがより家庭に近い生活環境の中で暮らすことを目指した新しい園舎が完成しました。マンションと同じような造りの部屋に6~8人の子どもと、職員が交代で勤務しながら生活しています。部屋にはキッチンがあり、職員がご飯を作っていると子どもが自然に料理のお手伝いをしてくれます。できあがったばかりの温かいご飯は、リビングで楽しくお話ししながら食べることができます。子どもたちには個室の部屋があり、勉強したり本を読んだり一人で落ち着いて過ごすことができるスペースを持つことができました。

私たち職員は、新しい園舎であたたかい雰囲気の中で、子ども一人ひとりの気持ちや考えに寄り添うことを大切にして成長を支えます。

# 年間行事



お雛祭りや端午の節句、七五三などの行事で子どもたちをお祝いし、節分や七夕、クリスマスなどの行事で季節や文化を感じられるようにしています。

子どもたちは、毎年、神奈川県内の児童養護施設が集まるスポーツ大会や文化活動に参加します。子どもたちは一生懸命に取り組み、職員や支援して下さる方々が応援します。子どもたちが頑張る姿にはとても感動します。

子どもたちは、ボランティアの方々のご支援で普段はできない体験や新しい経験をさせていただいています。豊かな感性を育て、色々なことに興味が広がるように支援しています。